

佐々木 敦緒 議員

本市農業これからの姿は

市長 優良牛群の再構築に取り組み 市場価格を高める

問 令和5年産米、全国平均の一等米比率は61.3%。本市の状況は。
市長 11月時点で94%である。
問 農家の後継者難等から耕作放棄地が増加している解消をどう図るおつもりか。
市長 市内の耕作放棄地は35.6ヘクタール、建設業等異業種の農業参入等によって解消に向けた。
問 全国的に子牛価格が統落して経営が厳しくなっている。本市畜産農家の経営状況は。
市長 和牛子牛価格は平均で50万円を下回る状況が続いており経営は厳しいと認識している。
問 畜産農家を中心に畑地化促進事業を申請している。予算の確保状況は。
市長 採択申請予定面積は49.1ヘクタール、国の補正予算で、42.7ヘクタールが採択見込みである。



鳥獣繁殖の温床となる耕作放棄地、その解消に農業委員の力を

問 県内に10万頭以上生息するニホンジカ。本市のシカによる農作物被害は1億1500万円を超える、シカを減らすためには年間8千頭以上の駆除が必要と思うが。
市長 昨年5493頭駆除した、それ以上駆除したいと思っ

問 低迷している本市農業再生の夢を農業委員会に託すため、農業委員等の報酬を引き上げが必要と思うが。
市長 財政状況、県内の動向を見ながら検討する。

観光力の強化が必要その戦略は

問 観光推進計画を策定し、観光マネジメントボードを設立した市長の意図は。
市長 官民連携でマーケティングなど、観光戦略をしっかりと立てる意思の表れである。
問 既存の観光振興の見直しに目を開いた新たな観光戦略が必要では。
また海外からの観光客誘致のためには公衆トイレは洋式化が必須。
市長 見直しは必要と思う。コンセプト「概念」や「観念」からしていく。
観光とトイレは密接で大事なことで、達首部の米田さわやかトイレは洋式化を図る。
問 農業振興、物産振興、観光振興を一体的に進めることが重要。
市長 農業、物産、観光振興の一体的振興が必要、経営母体となるDMOがその役割を担う。

子牛価格統落の要因

通常和牛は繁殖農家が約9か月飼育して肥育農家に売り渡しますが、景気低迷で国産和牛の需要が伸びず、飼料や燃料の高騰で肥育農家の採算が取れない状況にあります。そこで肥育農家は子牛を高く買い取ることができず、子牛の価格が落ち込んでいます。

DMOとは

自然、食、芸術・芸能、風習など、その地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域作りを行う法人のことです。

Destination Management Organization (デスティネーション・マネージメント・オーガニゼーション)の頭文字となります。

解説

一般質問

15人の議員が市政を問う!

QRコードをスマートフォンで読み込むと一般質問の動画を見ることができます。

Grid of 15 council members with their names, titles, and QR codes for video interviews. Members include: 宮田 勝美, 菊池 美之, 菊池 美也, 小松 正真, 小林 立栄, 菊池 忠信, 千田 由美子, 佐々木 敦緒, 佐々木 恵美子, 荒川 栄悦, 菊池 浩士, 昆 明美, 新田 勝見, 佐々木 大三郎, 瀧本 孝一.